

いろとわ

代表者 竹友美樹（人文B 4年）
構成員 植田源太（共獣B 2年）

1. プロジェクトの概要

学生同士で分け隔てなく交流できる場は少なく、自己表現をする機会もあまりない。そこで、作品を通じた交流の機会を提供したいと考えた。スマートフォンが普及した現在、写真は誰でも手軽にできる自己表現の1つであると考えた。しかし、撮影した写真をわざわざ印刷して誰かに見せたり、手に取ったりする機会は少なくなっている。写真を媒介として自分の見ている世界を表現し、他者が見ている世界を知り、認めあえる交流の場を作りたいと考えている。

2. 活動状況

2-1. 通常展示

以下の日程とテーマで写真展を通じた交流会を自主活動ルームにて行った。テーマは参加者で話し合い、次回のテーマを決めた。

7月7日	テーマ「自己紹介」	参加者3名	6枚
7月14日	テーマ「植物」	参加者4名	6枚
7月21日	テーマ「動物」	参加者6名	18枚
7月28日	テーマ「冷たい食べ物」	参加者3名	9枚
8月4日	テーマ「好きな場所」	参加者2名	12枚
9月22日	テーマ「夏休み」	参加者3名	15枚
9月29日	テーマ「夏休み②」		
10月6日	テーマ「夏休み③」		
10月13日	テーマ「秋」		

参加者は多くはないが、気軽に参加することができるため、自主活動ルームに来ていた方がその場で写真を送るという場面もあった。「交流会には行けないけれど写真は送ります」と言ってくれる方もいた。



展示の様子

2-2. オープンキャンパス（8月5日）

山口大学のオープンキャンパスにスタッフとして参加した。自主活動ルームにいらっしゃった方に自主活動ルームやおもしろプロジェクトについての説明をした。

2-3. 山口高校放送部の取材（9月5日）

山口高校放送部の取材を受けました。気になるプロジェクトということで取材をして頂いた。おもしろプロジェクトのこと、いろとわをどうして立ち上げたのか、どのような活動をしているのかなど様々な質問を受けた。いろとわを始めようと思った経緯を思い出すことができ、良い経験になった。

3. 活動の反省点

【良かった点】

- ・夏季休業期間を除き、毎週開催することができた。
- ・展示に興味を持ってもらうことができた。
- ・自己表現をしやすい環境を作ることができた。

【改善点】

- ・参加者が少ないため、広報活動を行う。

4. 今後の活動予定

- ・継続して毎週金曜日に交流会を開く。
- ・広報活動の一環としてポスターを作成する。
- ・今までの写真作品をスケッチブックに貼り、アルバムを作成する。

5. まとめ

自己表現と交流の場として始めたものだが、写真という比較的取り組みやすいものとしたことで、気軽に参加して頂いている。写真から会話が生まれる光景を見て、活動を始めてよかったと思う。好きな時に参加するというスタイルなので、拘束力はないが、コミュニティーのひとつの形として成立していると感じている。これからは多くの人に知ってもらえるよう、広報活動をしていきたい。